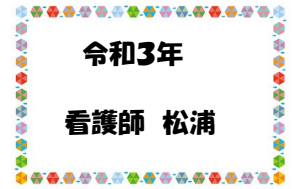




6月のほけんだより



令和3年

看護師 松浦

6月に入り夏が続く、暑さに慣れていない体は疲れがでてきます。子どもも大人も、休日には体を休めるためにも、ご自宅で過ごすこともいいかもしれません。

5月から乳児を中心に、発熱や下痢の症状のお子さまが出ています。無理をせず、症状が治まって、ご自宅で1~2日後登園して頂くと子どもにも負担が少ないと、思います。

歯科検診がおわりました

6月11日（金）に、歯科検診を行いました。幼児クラスの子どもは、ほとんどが泣かずに受けることができていました。何度も経験しているということと、仕上げ磨きをしてもらっている為、抵抗感がないのかもしれませんが、当日お休みした方は、かかりつけ医の定期健診を受けることをお勧めします。

すみれ組で行った、歯みがき指導で「一日のうちで、一番磨かなければならないのはいつですか？」と質問すると、みんな「寝る前！」と答えてくれました。そして、仕上げ磨きをお父さんやお母さんにやってもらっていると教えてくれました。

すみれ組の子ども（ひまわり組の子どもで永久歯が生えている子どもも）は、これから6歳臼歯が生えてきます。子どもには、磨きにくい場所ですので仕上げ磨きをお願いします。次回の歯科検診は、11月を予定しています。



水遊びでの紫外線対策

皮膚が過剰な紫外線にさらされると、健康にさまざまな悪影響が生じます。特に水遊びでは、もっとも肌を露出するため紫外線の影響を受けやすくなります。水遊びでの紫外線対策は下記の通りです。

- 時間を工夫する
 - 場所を工夫する
 - 服で覆う
 - サンスクリーン剤を上手に使う。
- となっています。

乳児クラスは、テラスで水遊びを行いますので、直射日光に当たることはありません。幼児クラスもプール上にタープがかかっていますので、直射日光は避けられます。心配な方は、ラッシュガードの着用で紫外線防御ができます。また、集団生活に適したサンスクリーン剤は、「SPF15以上」「PA++~+++」を目安とし、「無香料」「無着色」「耐水性」「ウォータープルーフ」の表示のある物が良いようです。耐水性のサンスクリーン剤を使えば、水が汚れないことが複数の研究で明らかになっているそうです。



少年新聞社 ほけんニュースより

コロナウイルス感染症のこと

変異株は子どもにも感染しやすいという一部報道がありますが、厚生労働省の情報では、保育園等の施設で急激な増加は見られていません。

大人の感染の増加に伴い、家族内感染が増えている結果、子どもへ感染しているということではないかとされています。

これからも、保育園においても流水と石鹸による手洗い、換気などコロナウイルス感染症だけでなく、感染症のリスクを下げる取り組みを継続していきます。

